



築理会HPにお立寄りの方にちょっと寄り道して頂こうということで始めた道草ギャラリーですが、丸6年になりました。会員の皆様が自由なテーマでHPに寄稿できるきっかけになればとの思いもありましたので、途中から世界遺産他建築以外のテーマも含めてきました。寄稿者の増加を期待しつつ、もうしばらく続けられたらと思っています。皆様のご感想・ご意見をお聞かせ頂けましたら幸いです。

今回はこれまでの中からCLT（直交集成板）に関するものをまとめてみました。まずは最新情報から。2019年から毎年、CLT関連の講習会情報をお知らせしてきましたが、今年も次のような二つのCLTに関するWEB講習会等が始まっています。どちらも林野庁の補助事業での無料講習会で、来年の1月か2月までの好きな日時に何回でも視聴できるWEB講習会と、建築物見学会もあります。今年はこの仕事に私は関わっておりませんが、今後CLTを利用する可能性のある方や少しでもご興味のある方は、受講登録されて視聴なさることをお勧めします。

A (一社) 日本CLT協会主催 「CLT 設計者等実務がわかる講習会」

<https://clta.jp/wp-content/uploads/2023/08/r5cltikuseikousyukai.pdf>

WEB講習 はじめるCLT講座 CLTの概要・最新情報

実務講座 (CPD付与バージョン・無バージョン選択可能) 工法(施工含む)、設計計画、性能(耐久性、遮音、歩行振動、防耐火等)、重点項目、日本CLT協会事業説明

B イントラスト(株)主催 「実物件から学ぶCLT建築講習会」

https://www.koushuukai.com/clt_jitsubukken2023/

WEB講習 【1】実物件から学ぶCLT建築講習会 六甲最高峰トイレ

【2】 はじめてのCLT

東が丘アパートメント

【3】 令和4年度 実物件から学ぶ CLT 建築講習会 の映像もご視聴いただけます。

(令和4年度のもの、道草ギャラリーその61で紹介した講習会)

【4】 CLT情報コーナー

「CLTガイドンス」

CLT建物見学会**<建物 1> 飯能商工会議所会館 10月6日 飯能市 (道草ギャラリーその43で紹介)****<建物 2> ライフ フット スタジオ浦和 10月16日 さいたま市****<建物 3> (株)CF ホーム新社屋 11月29日 川崎市**

建物見学会は、既に申込締切日を過ぎているかも知れませんし、日に2~3回の時間設定でそれぞれに人数制限もありますので定員に達しているかも知れません。ただ、<建物 1>はその一部に「奥むさし飯能観光協会」(観光案内所)があり、また<建物 2>は「浦和住宅展示場 MIRAIZU 内」にあるので、どちらも当日以外でも見ることはできると思います。



CLT (Cross Laminated Timber) は、ラミナ (集成材を造る板) を幅方向に並べて、繊維方向が直交するように何層か積層接着して版にしたものです。1995 年頃からオーストリア辺りで使われ出しました。私が CLT を初めて見たのは、2013 年に (一社) 日本木造住宅産業協会のオーストリアとスイスの視察旅行に参加した時でした。その時見学した建築物は、この道草ギャラリーでも CLT 以外も含めて幾つも紹介してきました。オーストリアのガイスホルン・アム・ゼーでマイヤーメルンホフ社の CLT 工場と集成材工場も見学させて頂きました。どちらも集成材の建物で屋根は木造トラスで組まれていて、上の写真はその CLT 工場です。カラフルな外観から仏教寺院の 5 色幕を思い出しましたが、良く見ると 8 か国の国旗のようでした。CLT 工場内部は撮影禁止でした。事務所も木造 3 階建てで CLT が全周持ち出し軒の屋根版として使われていました。CLT は個別の建築物向けの注文生産方式、3 交代 24 時間稼働、生産量 50,000 m³/年・250 m³ (戸建て住宅なら 5 戸分) /日、最大サイズ 280mm×3m×16.5m (欧州では搬送可能)、集成材の生産量は 135,000 m³/年とのことでした。日本では、この年の 12 月に CLT の製造規格が JAS に制定されています。国内の CLT 工場での最大サイズは、270mm×3m×12mと聞いています。

< Google マップ参照 >

URL は、下の「PDFはこちら」に入り、アンダーラインをクリックしてください。

マイヤーメルンホフ社 CLT 工場<https://www.google.com/maps/@47.4855299,14.5331911,16.61z>

これまで道草ギャラリーで紹介した CLT 利用の建築物や関連情報は、次の通りです。冒頭の写真は、それぞれの回の頭に掲載した写真を集めたものです。それぞれの回の文中には、Google マップの URL を書き添えたものもありますので、

現地を訪問なさる方はご活用ください（海外のもののみここにも URL を記載しておきます）。ストリートビューで最近の様子を覗くこともできます（上のマイヤーメルンホフ社の C L T 工場も、きれいにラッピングされた出荷待ちの C L T が並んでいるのが見られます）。

その 3 チューリッヒ 動物園象舎 現場で湾曲させて C L T を 3 層重ねた直径 80m 木造シェル屋根

<https://www.google.co.jp/maps/@47.3880241,8.5753978,307m/data=!3m1!1e3>

ストリートビューでシェルの内部も見られます。

その 5 ウィーン ショッピングリゾート 長さ 500m の曲面屋根

<https://www.google.co.jp/maps/@48.3431046,16.4620193,1425m/data=!3m1!1e3>

その 10 バンクーバー ブリティッシュコロンビア大学 幾つもの木造ビル

<https://www.google.co.jp/maps/@49.262851,-123.2525835,298m/data=!3m1!1e3?entry=ttu>

その 11 グラーツ 集合住宅・高齢者施設・オフィスビル・商業ビル等の複合施設

<https://www.google.co.jp/maps/@47.0533211,15.4094427,334m/data=!3m1!1e3?entry=ttu>

その 12 文末に木材利用高層建築物の近況紹介

その 14 ウィーン ミュールバック集合住宅 5 階建てまでの公営集合住宅

<https://www.google.co.jp/maps/@48.2874453,16.3901051,207m/data=!3m1!1e3>

その 19 ガリバルディー 木造消防署

<https://www.google.co.jp/maps/@50.0041835,-123.137608,124m/data=!3m1!1e3?entry=ttu>

その 22 ウィーン 7 階建て集合住宅

<https://www.google.co.jp/maps/@48.2544958,16.4462633,154m/data=!3m1!1e3?entry=ttu>

その 24 旭川 北海道林産試験場 C L T 実験棟 「デベロッパー[開発者]等のための C L T 講習会 2019」紹介

その 29 晴海 パピリオン 後に国立公園蒜山に移築（その 50 参照）

その 38 「デベロッパー<開発者>等のための C L T WEB 講座 2020」紹介

対象建築物は、その 41~44 で個別に紹介

その 41 つくば 住友林業筑波研究所 床スラブ C L T + R C

その 42 那須 砂川印刷 壁・屋根に C L T

その 43 飯能 飯能商工会議所 平行弦立体トラス・壁・梁に C L T

その 44 真庭 銘建工業 床・壁・屋根に C L T

その 50 「企画開発・設計者等のための C L T WEB 講座 2021」紹介

GREENable HIRUZEN オープニングセレモニー、津山信用金庫 勝山支店、ジオ×ホテル Entô Annex NEST、高知学園大学・高知学園短期大学 8 号館、宮崎県防災庁舎、桐朋学園 宗次ホール、ザロイヤルパークキャンパス札幌大通公園

その 51 大豊町 大豊学園（町立義務教育学校） 集成柱と C L T 版を貫で固めた構造要素

その 61 「令和 4 年度 実物件から学ぶ C L T 建築講習会」紹介

シネジック(株)本社、大林組 Port Plus、OLD BOY 野々口ショールーム、ストローグ(株)本社、大豊町立大豊学園

(2023.10.01)